

理 科（１ 学 年）

週時間数 3 時間

1 学習の手引き

使用教材	・教科書 ・ノート ・ワーク	持ち物	・教科書 ・ノート（A4） ・ワーク（ワークノート、 解答・解説、作図ドリル）
学習の 進め方	学 校	・学習課題の確認と解決を通して以下の力を養う。 ①実験を通して技能を高め、結果から考察を行い思考力を高める。 ②問題演習を通して思考力を高める。また、作図やグラフの作成を通して技能を高める。 ③講義による知識の確認や、授業の終わりにまとめを行い、知識の定着をはかる。	
	家 庭	・授業の課題で終わらなかった部分を終わらせる。 ・テスト勉強 ・自由研究（夏休み）	

2 学習の内容

学期	月	題材（学習する時間）	学習内容	備考（評価のもの）
前期	4 月	・身近な生物の観察 ・植物のなかま	・校庭周辺の生物の観察 ・植物のつくり	・授業で提示された課題 ・定期テスト ・ノート ・ワーク ・自由研究
	5 月	・動物のなかま	・植物の分類 ・脊椎動物について	
	6 月		・体のつくりと食物 ・無脊椎動物について	
	7 月	・いろいろな物質	・白い粉末の区別	
		＜夏休み＞ 自由研究		
	9 月	・気体の発生と性質 ・物質の状態変化	・身の回りの気体の性質 ・状態変化と温度の関係	
	10月	・水溶液	・濃度	
後期	11月	・光の性質 ・音の性質	・光の直進・反射・屈折 ・レンズ	・授業で提示された課題 ・定期テスト ・ノート ・ワーク
	12月		・音の大きさ・高さ	
		＜冬休み＞		
	1 月	・力のはたらき	・色々な種類の力 ・ばねと力	
	2 月	・火山 ・地震	・火山の形と岩石・溶岩の関係 ・地震の伝わり方と大きさ	
	3 月	・地層 ・大地の変動	・地層のでき方と化石 ・地形の変化とプレート	

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	方法
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期テストや、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
思考・判断 ・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期テストや自由研究、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く試行錯誤して、自らの学習を調整しながら、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期テストや自由研究、活動時の取り組みや授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する